

十和田市 議会だより

No.80

9月定例会号

一般質問 …… P4～10



3歳未満児の保育料無償化



LINEにAED設置場所の表示



メタバースを活用したまちづくり



新設市営住宅の入居者対応



国民健康保険税の減免



依存症への対策



旧洞内地区プール跡地の利活用



風力発電事業



奥入瀬溪流の土砂堆積等



中央病院への多額の繰出金



旧国道4号の街路灯整備



女性防災リーダーの必要性



再生可能エネルギー発電事業



将来に向けたまちづくり

薦沼の朝焼け

紅葉期の風のない晴れた日の早朝など、特別な条件下でしか見られない絶景。

自然観察路が整備され、紅葉期以外にも四季折々の景色が楽しめます。

目次

議案審議の状況等	P2
令和5年度決算審査	P3
行政視察報告等	P11
電子表決システム導入等	P12

議案審議の状況

9月定例会

令和6年第3回定例会は、8月26日から9月20日まで26日間の会期で開かれました。十和田市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定など、議案13件（発議2件を含む）、報告4件、認定8件が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

市LINE公式アカウントと Lアラート（災害情報共有システム） を連携します **可決**

今年度末をもって「駒らん情報めーる」を廃止し、情報発信ツールをLINEに統合するため、Lアラート（災害情報共有システム）の情報をLINEで自動的に配信する機能を追加します。



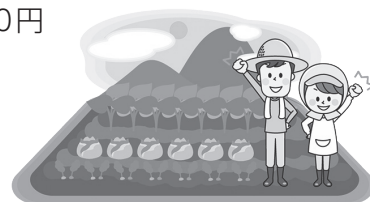
市公式LINE
友だち登録してね



畑地化に取り組む農業者に 地区除外決済金を補助 **可決**

令和6年度に国から採択を受けて畑地化に取り組む農業者に対し、土地改良区に支払うべき地区除外決済金を補助します。

◆補助金額
10aあたり
上限250,000円



令和6年第2回定例会終了後から第3回定例会までの間に開催した本会議及び各委員会の議員出席状況

※「○」は出席、「×」は欠席、「－」は所属外

日付	会議名	総務文教常任委員							観光建設常任委員					民生福祉常任委員					巖石橋義雄	出席人数(人)					
		氣田 量子	堰野 端展雄	小山田 剛士	太田 正幸	齊藤 重美	豊川 泰市	戸来 伝	久慈 年和	笹淵 峰尚	山田 洋子	小笠 原良子	江渡 信貴	工藤 正廣	小川 洋平	山端 博	中尾 利香	山端 美樹子			竹島 直樹	今泉 信明	中嶋 秀一	櫻田 百合子	
7月18日(木)	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	
8月27日(火)		○	○	○	×	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
8月28日(水)	観光建設常任委員会	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	×	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
8月27日(火)	民生福祉常任委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	7
8月20日(火)	議会運営委員会	—	○	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○	10
8月26日(月)		—	○	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○	—	○	—	○	○	○	○	○	10
9月18日(水)		—	○	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○	—	○	—	○	○	×	○	○	9
9月 5日(木)	議会改革特別委員会	—	○	—	○	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	○	○	○	—	—	○	—	—	—	8
8月26日(月)	第3回定例会(開会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22
9月10日(火)	第3回定例会(一般質問①)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21
9月11日(水)	第3回定例会(一般質問②)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21
9月12日(木)	第3回定例会(一般質問③)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21
9月20日(金)	第3回定例会(閉会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22
9月17日(火)	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21
9月18日(水)		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21

「令和5年度決算審査 すべて認定」

令和5年度の一般会計、各特別会計、各企業会計の決算は、全議員で構成する決算審査特別委員会の審査を経て、いずれも認定されました。

決算審査特別委員会での主な質疑を抜粋して掲載します。

決算審査特別委員会での主な質疑

結婚・婚活支援事業

問 ウェディングメモリアル事業補助金の具体的な用途は。

答 結婚式や結婚披露宴、フォトウェディングなどの費用の一部を補助しました。

問 結婚新生活支援事業の実績が減少しているが、ニーズ調査は行っているか。

答 事業を活用した方にアンケート調査を行っており、結婚に伴う経済的不安が1番多く課題として挙げられています。



老人保護措置

問 老人ホームはどこもいっぱいですぐに入所できないと聞かすが、緊急に入所が必要な場合の対応は。

答 高齢者の生命、身体に重大な危険が生じる恐れがあるか等、入所措置の必要性を判断し、対応しています。入所措置とならない場合も、状況に応じた介護サービス等を利用し問題を解決できるよう、家族やケアマネージャーと調整しています。



放課後児童

健全育成施設(仲よし会)管理業務

問 仲よし会は終了時間が早く、働き方を変えざるを得ないとの声があるが、時間延長を検討できないか。

答 今年度、第三期子ども・子育て支援事業計画を策定する中で、検討します。



子ども見守り支援事業

問 具体的な事業内容は。

答 高校生以下の子供がいるひとり親家庭等を対象に、月に2～3回子ども食堂を開催して食事を提供する中で、支援が必要な家庭や子供の状態を把握し、必要に応じて家庭訪問を行うなど、児童虐待等の早期発見、早期対応に取り組んでいます。



生ごみ等減量事業

問 生ごみ回収実証事業の成果は。

答 一本木沢町内会のごみステーションに専用バケツを設置し、ひと月で約960kgの生ごみを回収することができ、一般家庭1戸当たり約1.5日分の電気エネルギーと有機肥料約50kgの再資源化につながりました。



学校施設改修事業

問 市内小中学校のLED化の計画は。

答 国が2030年までにLED化100%を目標としていることから、今後、計画的にLED化を進めていく予定です。





小山田 剛 士
(黎明親和会)

全ての3歳未満児の 保育料無償化を 国の動向や県の子育て 支援の方針を注視する

問 市では、子ども・子育ての支援施策の充実や、子育て世代の経済的負担の軽減による少子化対策を推進するため、第二期十和田市子ども・子育て支援事業計画を策定し、幼児教育・保育の無償化等の実現に向け取り組んできた。3歳未満児の幼児教育・保育料完全無償化へはあと一歩のところまでできていると思うが、今後の見込みは。

答 全ての3歳未満児の保育料無償化は、保護者に対する経済支援策として少子化対策の一翼を担う取組であると認識していますが、恒常的な財政負担が生じることから、市単独では難しいものと考えており、引き続き国の動向や県の子育て支援に係る方針等を注視していきたいと考えています。

問 完全無償化には億単位の予算が必要と推察され、一度に全て無償化するのは大変であることは理解できるので、段階を踏んで無償化していくよう、無償化に向けたロードマップを第三期子ども・子育て支援事業計画に盛り込むことはできないか。

答 保育料無償化には恒常的な財政負担が生じ、市単独での実施は難しいことから、議員ご提案のロードマップのように、無償化の時期等を第三期計画の中で明確に示すことは考えていません。

問 7月に行った第三期計画策定に向けたニーズ調査では、3歳未満児への支援について要望はなかったか。

答 現在結果を集計中のため暫定的な内容となりますが、小学校就学前児童の保護者を対象とした調査では、子供の遊び場や経済的支援、仕事と子育ての両立支援などに関する要望や意見が寄せられています。



山 端 美樹子
(自民公明クラブ)

「相談窓口ガイドブック」に 依存症の項目追加を 次年度改訂時に追加する

問 依存症に関する相談支援体制は。

答 保健センターで対応しており、相談内容や状況に応じ、医療機関受診や精神科医によるこちらの相談につなげるほか、本人と家族に対し、依存症に対する知識や関わり方を伝えるなどの支援をしています。

問 依存症の回復支援体制は。

答 市は身近な相談窓口として、内容や状況に合わせ必要な支援が受けられるよう、依存症の相談拠点である県立精神保健福祉センターや医療機関等へつなげるほか、相談しやすい体制を整え、関係機関と連携しながら、普及啓発や情報発信に努めています。

問 依存症に対する児童生徒への教育体制は。

答 スマホ・ネット依存については、学級活動や総合的な学習の時間において情報モラル教育を実施しています。また、喫煙や飲酒、薬物乱用の害について学習するとともに、一般医薬品を大量に服用するオーバードーズの指導も行っています。

問 市の「相談窓口ガイドブック」には依存症の項目がないようだが、追加しては。

答 次年度改訂時に追加します。

問 防災行政無線の整備状況は。

答 市内全域計126か所に屋外拡声子局を設置しています。

問 聞こえない場合の対処策は。

答 希望者へ防災ラジオの無償貸与や、市公式LINE、テレビ、ラジオ、インターネットなど様々な手段により情報発信をしています。

問 医療機関等の団体に所属していない看護師も、市の総合防災訓練へ参加できないか。

答 今後検討します。



中 尾 利 香
(自民公明クラブ)

旧国道4号の街路灯の電球交換を

市が計画的に更新する

問 旧国道4号の東西道路の街路灯は、電球が多く切れており景観上よくないと思うが、市の対応は。

答 当該街路灯は、商店街の景観向上を図るために市が設置し、現在は一部の商店街と町内会に維持管理をお願いしていますが、人口減少や高齢化等により会員が減少し、これまで通りの維持管理ができなくなっていることから、市が計画的にLED照明に更新していきたいと考えています。

問 幼児教育・保育料支援の市の現状は。

答 市独自の取組として、国の基準より低い額の保育料を設定しているほか、令和5年度に保育料を約10%引き下げ、令和6年度から第3子以降の保育料を無償化するなど、保護者の経済的負担の軽減を図っています。

問 保健センターは、課や職員が増えたことから増築、建て替えも必要と思うが、市の見解は。

答 今年度からこども支援課の移設やこども家庭センターの設置により職員数は増えていますが、各事業については、現在の施設で工夫し実施できていることから、増築、建て替えは行わず、現施設で継続していきたいと考えています。今後の建設等については、耐用年数や事業の展開を見据え考えていきます。

問 駒っこ広場の「HIGH SKY」のモニュメントは、歩道に設置したほうが観光客の目に留まりやすいと思うが、市の考えは。

答 現在の場所は、作家本人が現地を確認し、作品が最も映える場所として選定したものであり、移設は考えていません。



中 嶋 秀 一
(自民公明クラブ)

市公式LINEに AED設置場所の表示を

9月から検索が可能に

問 市公式LINEアプリを活用してAEDの設置場所を表示できるようにしてはどうか。

答 市ホームページ上に、日本救急医療財団の財団全国AEDマップをリンクさせるとともに、令和6年9月から市公式LINEにおいても設置場所の検索ができるようになりました。

問 国民健康保険税の還付金が発生する理由は。

答 還付金は、二重納付や納付後に税額が減額になることで、税額より納付額が多い場合に発生します。税額が減額となる主な理由は、社会保険への加入、市外への転出、死亡などとなっています。

問 2026年の青の煌（きら）めきあおもり国スポ・障スポ開催で宿泊施設が足りないとの声があるが、どのような対応を考えているか。

答 競技参加者と大会関係者等の宿泊調整を効率的かつ円滑に行うため、県が主体となり、市町村と合同で宿泊業務を行う方式を取ります。これにより、宿泊調整が県全体で一元化され、宿泊者にとって便利な宿泊場所の確保につながるとともに、実行委員会側にとっても市町村をまたいだ調整がスムーズになり、業務の省力化、経費削減が図られると考えています。

問 児童手当は、家計を管理する口座に振り込んで欲しいとの声があるが、振込先は世帯主と決まっているのか。

答 児童手当法では、児童手当の支給は児童を監護し生計を同じくする父または母等とされており、父母等2人以上の場合は、世帯主ではなく所得の高い方に支給することを原則としています。



竹 島 直 樹
(柊の会)

旧洞内地区プール解体後の 跡地の利活用は

市として利用するか調査中

問 旧洞内地区農村公園のプール解体後の跡地の利活用はどのように考えているか。

答 地域での利活用の意向がなかったため、現在、市として利用する意向があるか庁内で調査をしている状況です。利用予定がない場合は、民間事業者などからアイデアなどを募集するサウンディング型市場調査の対象物件として、売却や貸付けに向けた取組を進める予定です。

問 旧十和田市立新渡戸記念館譲与後の館内資料の所有権確認作業の進捗状況は。

答 調停条項に基づき、市と双方代理人弁護士立会いの下、令和6年2月に市側から作業方針の申入れを行いました。新渡戸氏からは市が求める資料の現物確認について言及がなく、所有権確定には至っていません。引き続き資料の現物確認を求めるとともに、履行されない場合は、調停条項に定める損害賠償請求などの法的な措置を検討するなど、必要な対応を行います。

問 (仮称)みちのく風力発電事業は白紙撤回を求めたのに対し、(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業に白紙撤回を求めないのはなぜか。

答 (仮称)みちのく風力発電事業は、八甲田周辺の大規模な森林伐採などが予定されていたため、周辺自治体の意向も踏まえ、反対の立場を表明しました。(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業は、市営放牧場と保安林に計画されており、市営放牧場は牛の放牧に使用しているため、ふさわしくないと考えます。保安林は、県ゾーニング案では原則的に事業計画が認められない保全地域となるため、自然環境や景観等への影響を懸念する声大きい中、実施に係る住民の合意形成は現時点でハードルが高いと考えています。



氣 田 量 子
(自民公明クラブ)

女性防災リーダーの必要性を 啓発してほしい

女性防災リーダーが増える 取組を進める

問 災害時に女性ならではの視点を取り入れた避難所運営をするため、女性防災リーダーの育成や必要性の啓発を進める考えはあるか。

答 今後地域の実情を踏まえて行う講習会等の中で、男女のニーズの違い、女性の視点を取り入れた防災対策をテーマにするなど、女性防災リーダーが増えるような取組を進めていきます。

問 トイレカーを整備し、災害時に市内だけでなく近隣市町村へ貸し出す体制を整えることで、広域的な支援が可能となり地域全体の防災力が向上すると考えるが、市の考えは。

答 トイレカー導入は衛生的で安全なトイレ環境の確保に有効な手段の一つと考えますが、費用対効果に課題があることから、災害時応援協定に基づき、トイレカーや仮設トイレのリースを検討しています。

問 女性職員を防災担当部署に配置しては。

答 防災行政の特殊性を踏まえながら、市全体における適材適所の人員配置を検討します。

問 ペット同伴の避難訓練を実施する考えは。

答 課題等を整理し、可能な限り来年度の訓練で実施したいと考えています。

問 高齢者のヒアリングフレイル（聞き取る機能の衰え）対策と今後の取組は。

答 広報やホームページを活用し、基礎知識や聞こえづらさに気づくためのセルフチェック等の普及啓発をするとともに、リーフレットの設置場所を増やし、集いの場などで講話やセルフチェックの実施に向けて取り組みます。

問 自治体に設置した自動販売機の売上げ等を活用し、無償で防犯カメラを設置する「みんなで防犯プロジェクト」を活用する考えは。

答 増設時の選択肢の1つとして検討します。



笹 渕 峰 尚
(黎明親和会)

メタバースを活用したまちづくりを

市DX推進ビジョン等の 見直しに合わせ検討

問 メタバースとはインターネット上の仮想空間のことで、今後多くの産業や分野での利用が期待されるが、まちづくりへ活用する考えは。

答 導入自治体によって事業規模や必要経費、対象者等が大きく異なり、各事例や特徴等について十分に情報収集を行う必要があることから、今後の市DX推進ビジョンやアクションプランの見直しに合わせ、検討したいと考えています。

問 これまでのスポーツ合宿事業の取組実績は。

答 令和2年度から令和4年度まで、アネックススポーツランドを活用した助成事業を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用実績はありませんでした。

問 今後、やり方を変えるなど工夫し事業化へ取り組む考えはないか。

答 利用する側のニーズに合っているか、施設の優先利用による市民への影響など、様々な課題があることから、必要に応じて先進事例などの状況を調査研究したいと考えています。

問 青の煌（きら）めきあおもり国スポ・障スポの進捗状況は。

答 実行委員会や各関係機関と連携し、宿泊や交通の課題に取り組むなど、全体として予定どおりに準備が進められています。

問 市民の機運醸成を図る取組と効果は。

答 著名な方を講師に招いたサッカーやバスケットボール教室の開催や、スポーツ教室などのイベント時にPRチラシの配布、公式マスコットであるアップリート君の着ぐるみによるPRを行うなど、大会に向けた機運醸成を図っています。イベントに参加した市民からの反応は良好で、一定の成果はあったと考えています。



今 泉 信 明
(立憲農民クラブ)

風力発電事業 バードストライクの懸念は

被害が低減されるよう伝える

問 （仮称）惣辺奥瀬風力発電事業の建設予定地は猛禽類等の生息地であり、バードストライクが懸念される。計画段階環境配慮書に対する環境大臣の意見にも「鳥類への影響を回避又は極力低減すること」とあるが、市の見解は。

答 市では、事業者が市内で風力発電施設を建設するに当たり、環境保全、景観形成等の関係法令を遵守し円滑な事業実施を図るため、十和田市風力発電施設建設ガイドラインを策定し、基本的な考え方や調整手順、事業説明会の説明事項等の方向性等を示しています。（仮称）惣辺奥瀬風力発電事業における動植物への影響については、事業者からの環境影響評価により猛禽類等についても調査されていると聞いていますが、被害が低減されるよう、市としても意見を伝えていきたいと考えています。

問 十和田市まちづくり基本条例第23条では、住民の意思を問う必要があるときは住民投票を実施するとあるが、風力発電事業に対して住民投票を行う考えは。

答 自然・地域と再生可能エネルギーとの共生については、現在県で検討中の新たな共生制度の中で意見交換会や住民説明会などが新たに実施される予定で、住民との合意形成プロセスが制度化されるため、現時点では住民投票を行う考えはありません。

問 就職や求職活動、家事もしていない若年無業者に対する対策は。

答 若年無業者は様々な原因や課題を複合的に抱えている場合が多く、悩みや困り事、生活困窮などに関する相談と関連して関係各課で相談を受けているほか、市ホームページで、悩みに応じた相談窓口の情報を周知しています。



山田 洋子
(柊の会)

再生可能エネルギー発電事業 市として条例制定を 県で検討中のため、 市では制定しない

問 再生可能エネルギー発電事業と自然や市民生活との共存のために、市として条例を制定する考えはないか。

答 現在、県において条例制定を検討していることから、市として制定する考えはありません。

問 県の条例制定の検討段階で、市から県に対し意見や要望は伝えているか。

答 十和田八幡平国立公園の区域全てを保護地域とすべきではないかとの意見を伝え、ゾーニング案に反映されています。

問 県の条例案では、土砂災害警戒区域などの危険な場所での事業実施は規制されるのか。

答 規制する規定はありませんが、防災を目的とした区域は配慮すべき事項として、今後ガイドライン等で示される予定です。

問 県の条例案に該当しない小規模の発電事業への対応は。

答 再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法の改正により、本年4月から、事業者が固定価格買取制度を利用して事業を実施する際は、市への事前相談と周辺住民等への説明会の開催が義務付けられました。

問 市内のツキノワグマ目撃件数と捕獲頭数は。

答 下表のとおり。(令和6年度は8月末現在)

年度	令和4年	令和5年	令和6年
目撃件数	22件	61件	59件
捕獲頭数	18頭	27頭	6頭

問 湖畔地区や奥入瀬渓流地区で人的被害を想定した対策はしているか。

答 観光施設に熊追い払い用の花火を配置したほか、本年4月に、ツキノワグマの習性や遭遇時の対処方法を周知するため、観光関係者や住民を対象に「熊対策セミナー」を開催しました。



太田 正幸
(立憲農民クラブ)

(仮称)市営住宅北園団地・ 瀬戸山団地入居者への対応は

12月に部屋の見学会を実施

問 (仮称)市営住宅北園団地・瀬戸山団地への移転予定者に対する今後の対応は。

答 12月に部屋の見学会を実施、令和7年1月に、入退去や移転の手続き方法、スケジュール等をお知らせするための説明会を行う予定です。

問 移転費用の負担はどのようなのか。

答 市の建て替え事業に伴う移転のため、公営住宅法に基づき市が移転料を支払います。

問 3団地の方が2つの団地に交差的に入居するため、除雪やごみなどの管理が懸念される。入居者の協力を得るためにも、入居当初からコミュニティを築くことが重要と思うが、市の考えは。

答 コミュニティーの形成は、入居者に団地内施設の維持管理の一部を担っていただく上でも重要な事案と認識しており、代表者選出をはじめとするコミュニティ形成段階から円滑に運営が行われるまで、市がサポートしていく予定です。

問 新規入居者の募集予定はあるか。

答 現在のところ、合計29戸の入居可能住戸が発生する見込みのため、令和7年2月号の広報で募集を行う予定です。

問 市役所の業務は、複雑化、多様化している上、職員の増員も見込めない。行政サービスの維持を踏まえれば、職員の能力向上、組織の底上げが必要と思うが、職員への運転免許等資格取得を支援する考えは。

答 必要な免許や資格等を把握した上で職員配置を行っており、現在のところ、特段支障はないものと認識していますが、今後は免許や資格取得者の減少が見込まれるため、支援の見直しなど、時代に即した内容となるよう検討します。



久 慈 年 和
(立憲農民クラブ)

奥入瀬溪流の土砂堆積等 に対する市の見解は 自然現象で起こり得る 変化の範囲内と理解

問 近年指摘されている奥入瀬溪流の土砂堆積や流れの変化に対する市の見解は。

答 目視や県等から提供される放流量データの情報を得て確認していますが、降雨量、倒木等多様な要因によるもので、自然現象で起こり得る変化の範囲内と理解しています。今年度、市では「十和田湖および奥入瀬溪流」の計画的な保存や活用のため、新たに保存活用計画の策定に取り組んでおり、溪流の主要なポイントで現状の記録調査を行い、その結果を県や関係機関と共有、連携し、保全に努めていきます。

問 教員のなり手不足や、定年前退職教員の増加に伴い、全国的に教員不足が深刻化しているが、当市の状況は。

答 現在、専科指導教員として加配対象の4名、産休による代替教員1名、指導の充実のため措置される非常勤講師1名の計6名が未配置ですが、今後、産休による代替教員は配置予定です。

問 教員不足の認識はあるか。

答 未配置が生じていることから、教員不足と認識しています。

問 長期病気休暇や休職している教員はいるか。

答 令和6年9月1日現在、長期病気休暇の取得や休職をしている教員はいません。

問 教職員の負担を減らすため、保護者対応を一元的に行う子育て応援・相談センターを設置する考えはないか。

答 保護者からの苦情や要望の中には、質の高い教育活動を進める上で重要な内容を含んでいる場合があることや、学校のみで対応が困難な事案については教育委員会と情報を共有し、関係機関と連携して問題解決が図られていることから、センターの設置は考えていません。



工 藤 正 廣
(明政一心会)

20年後、30年後 どのようなまちにするのか 持続可能な魅力あふれる まちを創出したい

問 少子高齢化や人口減少が進む中、20年後、30年後にどのようなまちにするのか。

答 雇用の確保や子育て環境の充実などに取り組んでおり、特に若年子育て世帯への施策等を積極的に展開し人口流出の歯止めを努めてきた結果、当市の移住、定住支援事業を活用する移住者は増加しており、成果が着実に表れてきています。また、施設老朽化による維持管理費の増加を見据え、公共施設等管理計画に基づく建て替えや長寿命化、解体に取り組み、将来の負担軽減に努めるなど、将来にわたり持続可能な魅力あふれるまちを創出したいと考えています。

問 病院経営改革では、地域医療連携推進法人上十三まるとネットのような医療連携をもっと拡大し、広域事務組合のような形での運営も手法の1つと思うが、将来に向けた構想は。

答 地域一体型の取組として、人口減少や医療の担い手減少等を踏まえ、経営強化の観点から、相応のダウンサイジングや機能分担、業務連携に取り組む、限りある医療資源の利活用や法人内での人材育成、人材交流による人的資源の確保などにより、上十三全体の持続的な医療提供体制の維持に努めていきたいと考えています。

問 市長公約にある病院経営健全化について、開設者としての考えは。

答 本年3月に十和田市立中央病院経営強化プランを策定し経営改善に努めていますが、入院患者数はコロナ禍以前の水準に回復しておらず、人件費の上昇などによる費用の増大など、厳しさを一層感じています。病院事業管理者とより連携を取りながら、市民生活に欠かせない中核病院としての役割を果たしたいと考えています。



小笠原 良子
(日本共産党)

国民健康保険税均等割 18歳以下の全額減免を 県が県内の保険料率などの 統一化について検討中

問 国民健康保険税の均等割は加入者の負担が重く、子供を生むとさらに税負担が増えるため、18歳以下の均等割を全額減免する考えは。

答 現在、県が県内市町村の保険料率とサービス統一化について検討を進めているため、市独自に減免をする考えはありません。

問 生活困窮により納付困難な市民への対応は。

答 納税相談において分割納付や家族の社会保険への加入の助言、生活保護の相談につなぐなど、個々の状況に応じた対応に努めています。

問 全国的に教員の定員割れ問題が深刻化しているが、本市への影響は。

答 現在6人が未配置となっていますが、その多くは教職員定数以外の加配定数の教員であり、産休による代替教員は今後配置予定のため、本市への影響は限られたものと考えています。

問 教職員の勤務時間の実態は。

答 令和5年度の1人当たり時間外在校等時間数の月平均実績は、小学校で34時間45分、中学校で41時間37分です。

問 (仮称)十和田歴史館構想の進捗状況は。

答 (仮称)十和田歴史館は、郷土館、十和田湖民俗資料館、旧新渡戸記念館の資料を統合し、市の歴史がわかる資料館として整備するものですが、旧新渡戸記念館の資料について、現状では市での活用が難しいものと考えており、スケジュールの見直しを検討しています。

問 市史編さん事業の進捗状況は。

答 今年度は庁内の編さん体制を強化したほか、市民からの資料収集をはじめ必要な調査、検討も進めており、いずれも順調に推移しています。



戸 来 伝
(柊の会)

中央病院への多額の繰出金に疑問

一部は国の基準に基づくもの

問 15年間で、市から中央病院への約226億円もの繰出金支出に疑問を感じるが、市の見解は。

答 繰出金の一部は経営状況にかかわらず国の基準に基づき繰り出すもので、約226億円の繰出金全体が経営を助けるためのものではありません。

問 奥入瀬川河川敷の市の土地を太陽光発電事業者に貸し出しているが、その経緯等は。

答 平成25年からクリーン環境開発株式会社と面積42,056㎡、期間20年、年額12万円で賃貸借契約を締結しています。

問 一般に太陽光発電事業には1,000㎡当たり7万円以上の固定資産税がかかると思うが、この事業者のソーラーパネル設置に係る税額は。

答 市の土地については非課税です。事業者の税額は、守秘義務によりお答えできません。

問 コメリ周辺の都市計画道路の整備状況は。

答 十和田中央モータースクール南側の儀兵平千歳森線は、市道三本木霊園六日町線への接続までを4車線道路として、用地費4,200万円、補償費2億600万円、工事費8,400万円、合わせて約3億3,200万円で整備しました。

問 多額の費用をかけて4車線にする必要はあったのか。

答 主要幹線道路として重要な道路と判断し、平成19年から平成23年度に整備しました。

問 旧新渡戸記念館について、調停成立後も新渡戸氏で履行すべき内容が達成されておらず、調停合意と言えないのでは。

答 お互いの信頼関係に基づき合意したもので、新渡戸氏における調停条項の誠実な履行について、引き続き求めていきたいと考えています。

行政視察報告

各委員会等では、所管する事務に関する審査や調査のため、他の自治体の先進的な取組について行政視察を行い、市政への反映に努めています。

視察報告書は、掲載準備が整い次第、市ホームページでご覧いただくことができます。

総務文教常任委員会

- ・視察期間：令和6年7月23日(火)～25日(木)
- ・視察地及び視察事項
兵庫県神戸市
◆ネット活用による不登校の子支援について
◆不登校特例校について
大阪府八尾市
◆小中学校におけるいじめ防止対策（いじめ報告相談アプリの導入・やおっこ手紙相談等）について

民生福祉常任委員会

- ・視察期間：令和6年7月22日(月)～24日(水)
- ・視察地及び視察事項
愛媛県今治市
◆今治版ネウボラについて
愛媛県松山市
◆ごみ減量の取組について

観光建設常任委員会

- ・視察期間：令和6年7月23日(火)～25日(木)
- ・視察地及び視察事項
鹿児島県指宿市
◆池田湖周辺観光施設整備事業について
鹿児島県南九州市
◆市の景観計画と歴史遺産を活用した景観づくりについて

森林・林業・林産業活性化促進十和田市議会議員連盟

- ・視察期間：令和6年8月8日(木)～9日(金)
- ・視察地及び視察事項
気仙地方森林組合
◆FSC森林管理認証の取組について
岩手県陸前高田市
◆自伐型林業の取組について

令和6年度青森県市議会議員研修会

10月2日(水)、グランドサンピア八戸において県内10市の市議会議員が一堂に会し、青森県市議会議員研修会（主催：青森県市議会議長会）が開催されました。

「自治体の新たな防災対策と議会・議員の役割」と題して、跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授の鍵屋一氏が、災害に対する議会・議員の使命や心構え、災害時に議員がすべきこと、してはならないことなどの具体的な行動や議会BCP（業務継続計画）についてなどの講演を行い、参加者一同が熱心に聴講しました。



議場に電子表決システムを導入します

十和田市議会では、開かれた議会運営を目指しています。

賛否が分かれた議案について、議員ごとの賛否が見える化し、わかりやすく公表するため、令和6年第3回定例会に電子表決システムの導入を提案し、全会一致で可決されました。令和6年第4回定例会から運用を開始します。

採決結果は、議場内モニター及びインターネット中継画面に表示されます。

(画面表示はイメージです)



15 久慈 年和	16 江渡 信貴	17 堀野端 展雄	18 工藤 正廣	19 小川 洋平	20 豊川 泰市	21 戸来 伝	
7 今泉 信明	8 中嶋 秀一	9 中尾 利香	10 小笠原 良子	11 山端 博	12 櫻田 百合子	13 氣田 量子	14 齊藤 重美
	1 山端 美樹子	2 小山田 剛士	3 太田 正幸	4 竹島 直樹	5 笹淵 峰尚	6 山田 洋子	
賛成 10		反対 11		投票総数 21			

請 願

継続審査

(仮称) 惣辺奥瀬風力発電事業に関する請願

令和6年第4回定例会の開催予定

11月25日(月)	本会議 (開会)
12月 9日(月)	一般質問
10日(火)	
11日(水)	
12月13日(金)	本会議 (閉会)

※会議の開始はいずれも午前10時からです。

※各常任委員会の開催予定日は未定です。

※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

編 集 後 記

第3回定例会において、一般質問に14名の議員が登壇しました。他自治体の中でも質問に立つ議員が毎回多いと評価されています。

また、決算審査特別委員会では、令和5年度の市の予算がどのように使われたかを詳しく精査し、各事業の成果や課題を検討しました。

市民の皆様が税金が有効に活用されているかを確認することは、議会の重要な役割です。市民の皆様にとって、より良いサービスを提供できるよう、引き続き努力してまいります。

(文責 氣田量子)

議会だより編集委員会

委員長 中嶋 秀一	副委員長 小山田 剛士
委員 山端 美樹子	委員 太田 正幸
// 竹島 直樹	// 中尾 利香
// 山端 博	// 氣田 量子

